

## 第2回パーティポート施設のあり方検討委員会 議事要旨

日時：令和7年3月5日（水）15：30～17：30

場所：中央合同庁舎3号館8階特別会議室

### 議事要旨

- 株式会社 Soracle 及び東京都より、空飛ぶクルマ及びパーティポートの取り組みについてヒアリングを行った。
- 機能別・地域別のユースケースについて意見交換を行った。

### （委員からの主な発言）

- ユースケースについては、富裕層をターゲットとしたもののみ考えるのではなく、地域課題の解決や日常での利用にあたって利用者目線でどうあるべきかなど、公共交通政策上の位置づけを明確化したうえで考えるべきである。
- 都市圏よりも地方部の方が、空飛ぶクルマおよびパーティポートの需要が高く、整備も容易ではないか。
- 地方空港と観光地間や、地方空港間を結ぶ利用など地方空港の利活用を考えるべきである。
- 都市圏や混雑空港におけるパーティポートの整備・利用方法の検討が必要である。
- 空飛ぶクルマ、パーティポート普及にあたっては、社会的受容性をどのように向上させるかが重要である。
- 2030年代後半のユースケースやパーティポート整備を考える場合、機体の価格が高いままか、または下がるかなど、前提条件を明確化したうえで、優先順位を踏まえながら必要となる機能等を考えていくべきである。

以上